

### 上丸子小学校避難所運営訓練調査・参加区民会議委員報告等

#### (1) 訓練を見学した感想

(青木委員)

- 訓練の実施方法は、いろいろあっていい。避難所運営訓練は初開催ということで、初めて町内会の区域を超えて集まったことで今回は大成功といってよいと思う。
- 訓練は体験してみないと分からない。次回は、要援護者の避難の訓練を取り入れるなど新しい手法を取り入れることで、地域の力は高まっていくと思う。
- 光陽電業社と連携した訓練は素晴らしい。今後は病院などを連携先に加えるなどできれば、より実践的かつ具体的な訓練になる。

(岡本委員)

- 地域で防災について考える機会があり熱心に討議されていたことは大変有意義な訓練のように思えました。
- 回を重ねることで前進するのではと思いました。

(松本委員)

- 民生委員や防犯・防災・青少年育成に関わる団体の員は、災害時に頼れる人、動ける人と見られます。防災組織のしくみや取組み、全体の流れを理解するために訓練には絶対参加してほしい。
- 実際に訓練を体験してみないと判らないことがあった。
  - ・ 仮設トイレの組み立てに時間がかかる、説明書が判りにくい
  - ・ 室内での無線機の感度
  - ・ 体育館で実際寝泊りする際のスペース確保や区分け方法など
- 組織のリーダーをはっきり決め、指示のもとに動く。  
社会経験の豊富な大人は、様々な知識経験を持っているため、皆が勝手にリードしがちになる。統率するリーダーは、正確な判断と指示、組織内でスムーズに動くためのチームワークを日頃の訓練で周知徹底する必要があります。
- 避難所内で精神的フォローを担う人が必要。  
デリケートな妊産婦、高齢者、乳幼児、障害者などには寄り添う人が必要。  
災害時に動揺している人（大声を出す、怒鳴る、泣く、勝手な行動をする）にも優しく接する人が必要。
- 避難訓練に若い人が参加していない。⇒誘いあう努力も必要。  
あらゆる年齢層の方に参加してもらい、多方面から意見を出し合い、問題点を抽出し、地域に合った解決策を考えていく。

(村山委員)

- 6町会の合同訓練であり、多くの様々な年代の参加があった。あらゆる機会をとらえ災害があった場合を考える事は大事であり、訓練は有意義であった。
- 訓練で得たものを各町会に持ち帰り、町会単位で役割分担、組織図を作るのが大切。又、避難訓練は継続が大事であり、区民会議としても応援して行きたい。

## (2) 地域課題を解決できるような取り組み事項の案

(岡本委員)

- 各町内で、このような防災を考える機会が開催できればと思う。
- 各班別（作業別）に分かれての話し合いで方向性が明確でなかったの、リーダーの方の研修会など、知識を学習する機会を持てればよいと思う。
- 話し合いの中で問題点等が出された場合は、専門の方（詳しい方）にアドバイスをしてもらうことが出来ればと思った。
- 各地域で問題点が異なると思うので、自由に話してもらうことは大変良いと思う。各地域でまとめ解決方法を考える。
- 避難場所、防災用収納庫についても質問が出ていました。知らない方が多かった様に思うので、実際に自分達の街を歩くのも良いと思う。

(松本委員)

- 規模の大きい訓練も必要ではあるが、町内会単位でメンバーを交代しながら定期的に訓練を実施し、自分の役割は何かを知る事が大切である。
- 町内会の行事や祭礼、地域と関係のある学校行事等で、防災意識を高める講和や啓発物を配布し地域住民に防災組織のPRをする。